

西江通信

CONTENTS

- 1-2 現場だより「パンケ新得川砂防工事(補正・明許)外」
- 3 特集「BCP 訓練」
- 4 受賞 Report
- 5 PLUS NEWS「太陽光でイルミネーション」
- 6 編集後記「年末のご挨拶」

冬号

R7.12.26

— 第26号 —

BACK
ISSUES



紙面を通じて西江建設とあなたを繋ぐ広報誌。西江の仕事・想い・働く私たちの情報をお届けします



📷 9月30日(火)に本社で実施した地震を想定したBCP訓練において、屋外への避難訓練を実施している様子(撮影: 株式会社リンク)

現場だより - 概要 -

パンケ新得川砂防工事（補正・明許）外

☑施工場所：新得町

☑施工期間：令和7年4月24日～
令和8年3月23日

☑発注者：十勝総合振興局 帯広建設管理部

☑請負者：西江建設株式会社

☑請負金額：279,400,000 円

☑進捗率：66%（12月末時点）

現場職員

現場代理人・監理技術者

喜多 仁志

林 睦寛

祖父江 舜

吉川 龍男



工事概要

本工事は、土砂災害から地域住民の生命・財産・公共施設等を守るため、砂防堰堤を整備する工事です。砂防堰堤とは、土石流が発生したときに上流で大きな岩や流木、土砂をせき止め、下流域へ流れ込むのを防ぐ施設です。

工事箇所であるパンケ新得川は、平成28年8月の4連続台風による豪雨で流域内に甚大な被害を受けました。現在は土石流危険渓流（※1）や急傾斜地崩壊危険箇所（※2）に選定されており、今後、出水があった場合に土砂災害の発生が懸念されているため、砂防施設の整備を推進しています。

本工事は、25セクレンと1m³ホッパー（※3）を使用してコンクリート打設を行い、特に「適切な締め固め」と「養生」に気を配り施工しています。締め固めを適切に行うことで、コンクリート内部の空気を抜き、材料を均一に密着させることができます。これにより、水や空気が侵入する原因となるジャンカ（豆板）と呼ばれる隙間の発生を防ぎ、構造物

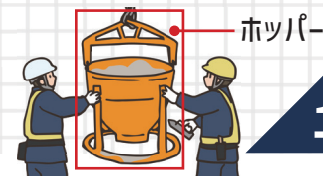
の耐久性を向上させます。また、しっかりと養生を行うことで、打設直後のコンクリートを急激な乾燥や温度変化から守り、ひび割れの発生を抑制し、強度を高めます。

これらの品質管理における工程を徹底し、長期にわたって地域の安全を守る高品質な砂防堰堤を整備してまいります。

※1 土石流の発生の危険性があり、五戸以上の人家（五戸以下でも官公署・学校・病院・駅・旅館・発電所等のある場合を含む）に被害を生ずるおそれがあることとされた渓流（国土交通省 HP）

※2 大雨や地震などをきっかけに、がけ崩れが発生する危険性が高い土地の区域のこと。法律に基づき都道府県知事が指定する「急傾斜地崩壊危険区域」の候補地としてリストアップされている区域であり、住民の生命や財産を守るための対策が必要とされる場所

※3 ミキサー車等で運ばれた生コンクリートを流し入れ、クレーン等で打設箇所に搬送する装置



Q 今回の工事で、苦勞したことについて教えてください

A 正直に言うと、図面や設計書を見れば見るほど、素直に「これはやばい!」と思った瞬間が何度ありました…(笑)

設計の段階では平面的な計画で、図面では見えにくい現地の斜面や高低差を考慮しながら、各工種の作業とどう連携させるか?どう次の工程にアクセスするか?など頭を悩ませる要素が多々ありました。常に一步先、二歩先のことを考えて、予測されるトラブル等があれば、随時、発注者に提言し丁寧に協議を重ねながら工事を進めています。

発注者・設計者と綿密な打ち合わせを行いながら日々施工しており、今、だんだんと形になってきているところです。悩むことも多い現場ですが、このまま無事に完成できれば、間違いなく達成感 MAX! です。その日を楽しみに、最後まで無事故無災害で頑張ります!

Q 西江建設について思うこと

A 常に新しいことに挑戦する会社だと感じています。次々に新しい技術が生まれ目まぐるしく変化する世の中で、何かと苦慮している会社も多いと思います。でも西江建設は、常に最新の技術を取り入れたり、新しい取り組みに挑戦しており、職員が働きやすい環境が整っていると感じています。



着工前



伐開



掘削



コンクリート打設

施工箇所の変化を見比べてみましょう

Q この現場には、今年度入社の社員が配属されていますが、どんな様子ですか

A 仕事に対する姿勢が前向きで良いですね! 一生懸命向き合っています。

入社1年目なので「できないことがあたりまえ」。指導する際は、最初に物事の根っこになる部分から教えるようにしています。根本を理解することで、これからいろんな場面で応用できるようになりますし、想定外のことが起こった時も、柔軟に対応できるようになると思っています。

若手インタビュー 吉川さん(入社1年目)

Q 上司・先輩の背中を見てカッコイイと思ったこと

A 常に周囲の安全や作業の流れを意識し、無駄のない動きで現場を進めている姿がとてもかっこいいです! 日々の作業の中で、細かな確認や声掛けを欠かさず、当たり前のことを確実に積み重ねていく姿勢を見て、現場で信頼される技術者にとって必要な責任感と安全意識の高さを学んでいます!



現場代理人・監理技術者

喜多 仁志

Kita Hitoshi

- ☑ 平成 25 年入社
- ☑ 工事部工事課工事長
- ☑ 北海道中央工学院専門学校 土木工学科卒業
- ☑ 趣味はスキー・スノボ。行くまでは腰が重い…でも行けば子供たちよりエンジョイします



特集 - BCP 訓練 -

BCP 訓練

9月30日(火)、千島海溝沿いの十勝沖を震源とするマグニチュード9.0、最大深度7の地震を想定したBCP※訓練を行いました。この訓練は毎年9月の防災月間に実施しており、今回で10回目の訓練となります。

「第1部 動画視聴・講話」「第2部 訓練」「第3部 総括」で構成した約3時間に及ぶ訓練に全職員が参加し、災害発生時の手順などを確認しました。

※BCPとは、「災害時事業継続計画(Business Continuity Plan)」の略称。地震・洪水などの自然災害や、事故、その他危機的な事態が発生した際に、重要業務を中断させず、また例え中断してもできるだけ短い期間で再開できるように平常時から事業継続について準備しておく計画。

災害協定

当社ならびに当社が加盟している(一社)帯広建設業協会は、帯広開発建設部や十勝総合振興局、帯広市と災害協定を締結しています。

この協定に基づき、自然災害が発生した際に施設の巡視点検や復旧作業にあたります。

流域治水 オフィシャルサポーター

当社は国土交通省から全国で6番目の流域治水オフィシャルサポーターとして認定されています。

災害時には、近隣住民への携帯電話の充電場所の開放や、一時避難場所を設置します。

帯広市水防協力団体

当社は全道で初めての水防協力団体として帯広市から認定されています。

平時から水防訓練への参加や資材等の保管をするとともに、災害時には巡視活動、避難援助、水防活動等の後方支援を行います。

第1部 動画視聴・講話

内閣府が製作した動画を視聴し、日本海溝・千島海溝沿いで巨大地震が発生した場合の被害想定や、寒冷地における避難方法などを学びました。

宮島副社長による講話では、人口減少や少子化等により自助・共助・公助の連携が難しくなっており、さらに災害時に対応できる行政職員等が減っていることから、災害時の復旧活動に尽力する必要性を再確認しました。



第2部

訓練

【避難、安否確認】

まず本社勤務職員の屋外避難および本社社屋の安全点検を実施した後、本社内に災害対策本部を設置。全社員に対しコミュニケーションアプリ LINE を活用した安否確認を行いました。



▲ 災害対策本部設置後の様子

【施工現場・各所との連携】

リモート会議システム ZOOM を活用し、施工現場の様子や、災害協定に基づく巡視点検場所と中継を繋ぎ、映像と共に被害状況を共有しました。

また、各行政機関や協力会社との連携、災害協定に基づく協力体制の手順も確認しました。



▲ 充電場所の開放
EV車の中で電源
タップを繋いでいる様子

【電気自動車の電源活用】

停電が発生した際、近隣住民に携帯電話の充電場所を開放することを想定し、社有車のハイブリッド車の活用方法について共有しました。

【一時避難場所の設置】

近隣住民の一時避難場所開設にあたり、段ボールベッドの組立て、テント設置、備蓄食料品の保管場所等、一連の流れを確認しました。



▲ 段ボールベッド組立ての様子

いつ発生するかわからない自然災害に対して、日頃から備え、いざという時に迅速に対応して地域に住む人の生命と財産を守ることは建設業の使命です。

西江建設(株)は、(一社)帯広建設業協会員ならびに流域治水オフィシャルサポーター、帯広市の水防協力団体として、災害時の社会基盤の復旧に尽力して参ります。

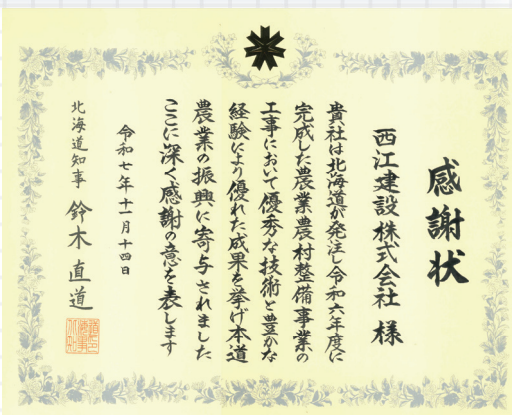


受賞 Report

農業農村整備事業優秀業者表彰

11月14日（金）、札幌ガーデンパレスにおいて令和7年度 農業農村整備事業優秀業者感謝状贈呈式が執り行われました。

北海道が発注し、令和6年度に完成した農業農村整備事業の工事において、優秀な技術と豊かな経験により優れた成果を挙げ北海道農業の振興に寄与したとして、北海道知事からの感謝状を北海道農政部 鈴木賢一部長から授与されました。

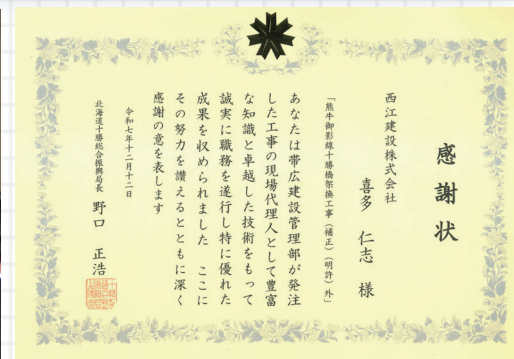


喜多仁志工事長が受賞！

優秀工事現場代理人等表彰

12月12日（金）、十勝総合振興局において令和7年度 帯広建設管理部優秀現場代理人等表彰式が執り行われました。

帯広建設管理部が発注した工事の施工にあたり、豊富な経験と卓越した技術をもって特に優れた成果を収め北海道の建設事業の推進に寄与したとして、十勝総合振興局 黒田健一副局長から感謝状をいただきました。優秀現場代理人表彰式では、令和6年度に完成した「熊牛御影線十勝橋架換工事（補正）（明許）外」において現場代理人を務めた工事課 喜多仁志工事長が、豊富な知識と技術をもって誠実に職務を遂行し工事を完成させたことが評価され、感謝状をいただきました。



受賞者代表挨拶を務める喜多工事長

太陽光でイルミネーション

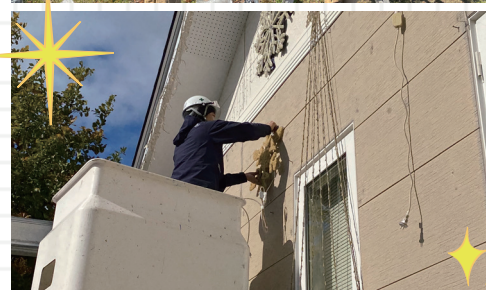
西 18 条北 1 丁目にある当社の帯広工事事務所では、今年で 20 年目となるイルミネーションを点灯しています。高さ 8m のツリーをはじめ、並木と事務所を青と白を基調に幻想的な雰囲気仕上げています。

今年から新たに設置したソーラーパネルで発電・蓄電した電力で給電し、環境に配慮したイルミネーションとなっております。

北バイパス・国道 38 号線を通る際は、ぜひお楽しみください♪



職員総出で設置作業
頑張りました！



自慢のイルミネーション
見に来てください♪



スケジュール

12月27日(土)～1月4日(日)
年末年始のため休業

1月 5日(月) 仕事はじめ

1月 9日(金) 新年会

3月31日(火) 次回「春号」発行予定

SNS

YouTube



Instagram



WebSite





編集後記

早いもので、年末のご挨拶をさせていただく時期となりました。
本年も皆様よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和8年も、社会基盤整備事業を通じ
地域に必要とされ、そして地域に貢献する会社として
社員一丸となって努力し続けてまいります。
今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

駆け抜ける馬のように、皆様にとりまして
活気ある年になりますよう、社員一同お祈り申し上げます。

